

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成4年6月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第58巻 第3号

ISSN 0525-2997

vol.58 no.3

物性研究

1992/6

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにして下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンはB5で、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の適当な箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（ \square ）、イタリック（ — ）、ゴシック（ w ）、ギリシャ文字（ ギ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくいcとe、eとl、vとu、uとn、l（エル）と1（イチ）、O（オー）と0（ゼロ）、x（エックス）と \times （カケル）、†（ダガー）と+（プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求め、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにして下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンはB5で、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の適当な箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（—）、ゴシック（w）、ギリシャ文字（ギ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくいcとe、eとl、vとu、uとn、l（エル）と1（イチ）、O（オー）と0（ゼロ）、x（エックス）と×（カケル）、†（ダガー）と+（プラス）、ψとφとΨとΦなども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

編集後記

物性研究の編集にたづさわり始めて2年以上たったのだろうか。昨今のように、ミーム的科学的少年からめでたく蝸壺に入居された専門家に到る読者を対象にしたおびただしい数の科学雑誌が出版されている現状を考えると物性研究のような「さえない」雑誌が安閑としておられる余地はなさそうである。絶対多数の会員に支えられた物理学会誌でさえ色つき表紙と色つき図版で厚化粧して、若い読者に受けようとしている位だから、このさえない物性研究なんぞたちまちのうちに読者に見放されてしまうであろう。こういう中で物性研究が自らの特色を発揮できる道はあるのだろうか？ 残念ながら日本の研究者は自立性（あるいは自らの存在基盤に対する誇りと言ってもよい。）にとぼしい。従って established によって流布される記事を欲しがらる。中央の研究者は、アメリカで増幅され確立されたヨーロッパの情報を、地方の研究者は中央の情報をメジャーから流された情報として珍重しそれを follow しようとする。こんな馬鹿馬鹿しい構図をなんとかしなければ日本からその風土を反映した独創的研究が生まれる筈はないし、その可能性はますますなくなりつつある。しかし多くの雑誌はこの種のメジャー情報をたれ流す役割しかしていない。とすれば我が物性研究がゆくべき道は自ずから定まる。日本における creative minority を発掘し非力ながら世の中に知らしめる。これしかない、これなのだ——と思い特別寄稿という企画を始めた。この欄で、決して現在 major ではないが極めて独創的な仕事にとり組んでいる研究者を発掘しようとして試みた。このもくろみが成功しているとは未だいい難いが、これまで寄稿された原稿の中には私が自信をもって、これは掘り出し物と言える記事があると考えている。今後、読者と編集者の間の interplay が存在するような雑誌をめざしたい。読者に気軽に「あの人のまとまった話を掲載して欲しい」とか「こんな独創的な研究があるのだからぜひとも特別寄稿としてとり上げて欲しい」という風に要望してもらって、それを explicit に反映するシステムをつくりたいと考えています。よろしくお願いします。

(K. I.)

物 性 研 究 第58卷第3号 (平成4年6月号) 1992年6月20日発行

発行人	池田研介	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075)721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都1-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止はVolumeの切れ目しかできません。次のVolumeより送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく2 Volumes以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費19,200円**(1 Volume 9,600円)です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止はVolumeの切れ目しかできません。次のVolumeより送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)753-7051, 722-3540

FAX (075)722-6339

物性研究 58—3 (6月号) 目次

○特別寄稿	
「光子数の連続測定：情報と波束の収縮」……………上田 正仁……………	235
○物理概念についての人類史的考察……………西森 一夫……………	256
○修士論文題目 (1991年度) ……………	316
○編集後記……………	335

物性研究 58—3 (6月号) 目次

○特別寄稿	
「光子数の連続測定：情報と波束の収縮」……………上田 正仁……………	235
○物理概念についての人類史的考察……………西森 一夫……………	256
○修士論文題目 (1991年度) ……………	316
○編集後記……………	335